



# 第一礼拝次第

説教：カク・ヨンドン牧師

頌 栄	5 4 0	会 衆
主の祈り		〃
プレイズ	「心に感謝をもちながら」 「慕い求めます」	〃
聖書朗読	ヨナ書 4：1～2、11	司 会
祈 禱	(旧約聖書 p1447)	
賛 美	3 1 2	会 衆
説 教	「ヨナの怒りと神の慈悲」	牧 師
祈 禱		
賛 美	新生 2 1	会 衆
献 金		
報 告		司 会
頌 栄	新生 6 7 2 b	会 衆
祝 禱		牧 師



# 第二礼拝次第 (19:00)

説教：仲本貴子師

聖書：ルカ 22：31-34(新約聖書 p154)  
 メッセージ：「だから、あなたは」  
 プレイズ：「感謝と喜びを」「あなたは」  
 賛美：新生 1 3 1 新生 3 0 0



# ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利千佳子姉

聖書：ヨハネによる福音書 14：1-6  
 メッセージ：「わたしは『道』、『真理』、『命』」

## <巻頭言>

「礼拝の始まり」

牧師 渡真利彦文

“時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持ってきた。アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持ってきた。”(創世記 4:3-4)

創世記の中に、カインとアベルが献げものをしたことが記されています。その時、神に命じられて礼拝をささげたとは書かれていません。しかし、モーセの十戒には「安息日を心に留め、これを聖別せよ。」(出エジプト記 20:8)、あるいは「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。」(出エジプト記 20:3)という戒め(命令)が与えられました。なぜかという、モーセの律法は救われた後にできたものだからです。この律法を守ったから、あなたは救われますとは神はおっしゃいませんでした。まず神はイスラエルの人々を救い、その後、律法を与えられたのです。神の恵みが神への行いより優先するのです。それは私たちの生活が豊かにされるためなのです。

どうして神はアベルの献げものを喜び、カインの献げものを喜ばれなかったのでしょうか。アベルは羊の中から肥えた初子をささげ、カインは野の作物をささげました。アベルは多くの羊の中から最も良いもの、傷のないものをささげた姿が描かれています。他方カインは、野原のどこにでもあるようなものを持ってきたような気がします。

私たちの礼拝はどうでしょうか。聖書のみ言葉に立つとき、アベルの神への献げものは喜んで最高のものを神に自発的にささげる姿が大切な礼拝の鍵となります。